①事務事業名		担当 課係	内線	1347
事業コード	薬師寺第2期宅地造成事業		財務課 管財係	
開始年度: 平成 21 年度 ⇒ 終了年度: 平成 24 年度				

②事務の位置づけ	事業の種類	☒ 自治事務		☐ 法定受託事務		
	根拠法令	☐ あり ()				☒ なし
	分野別計画・指針	☐ あり ()				☒ なし
	総合計画の体系 (☒ あり ☐ なし)	5つの柱	1	自然と共生した住みよい安全なまちづくり		
		まちづくりの目標	2	環境にやさしい安全なまち		
基本方針		4	質の高い生活環境の整備			
施策区分		10	住宅			

③事業の概要・内容(Plan)

事業の概要	薬師寺に8,022㎡の宅地造成を行い、18区画を分譲販売する。
-------	---------------------------------

事業の内容	対象(誰を対象としているのか)	戸建住宅用の宅地を必要としている者
	目的(何のために行うのか、具体的に)	農山村地域の定住対策と活性化を図るとともに、良好で魅力的な住環境形成の誘導及び計画的な宅地化の推進を図る。
	手段(どのような方法で実施するのか)	同種の事業はすでに平成16年度から着手しており、まず薬師寺第1期として12区画の宅地造成を行い、平成20年度に販売を完了している。 平成21年度に薬師寺第2期宅地分譲地として18区画の測量・設計、平成22年度は用地購入・地質調査を行い、区画造成を開始した。平成23年度に区画造成を終了し、平成24年度から販売を開始する計画である。

④事務事業の実施状況・現状把握(Do)

活動指標	指標名等(説明・算定式)	単位	H21 実績	H22 実績	H23 目標	H24 目標	H25 目標
	用地購入	㎡		7,909			
	測量	㎡	10,000				

成果指標	指標名等(説明・算定式)	単位	H21 実績	H22 実績	H23 目標	H24 目標	H25 目標
	造成区画数	区画			18		
	指標化(数値化)できない成果						

事業費	事業費(単位:千円)		決算額		予算額		計画(概算見積もり)	
			H21	H22	H23	H24	H25	
	財源内訳	国・県支出金						
		地方債						
		その他						
一般財源		6,450	44,333	86,023				
事業費合計 (b)		6,450	44,333	86,023	0	0		

⑤ 事務事業の評価 (Check)

必要性	公共性は	■高い □普通 □低い				
	住民ニーズは	■高い □普通 □低い				
	現時点でこの事業を取り巻く状況に該当するものは	□1 事業開始時と比較して社会経済状況が変化、または目的がすでに達成されたなど実施意識が低下している。				
		□2 ニーズと比較してサービスの供給が過剰となっている。				
		□3 国や他都市の水準と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある。				
		□4 国または県において、同種のサービス提供が行われている。				
□5 民間の活動を阻害、あるいは民間と競合している。						
		■6 上記に該当する項目はなく、市による事業は妥当である。				
有効性	上位施策に対する貢献度は	□1 政策・施策への貢献度が著しく高いとはいえない。				
		□2 政策・施策の目的を実現するためには、実施内容が必ずしも適切ではない。				
		□3 当該事業を現在の実施内容で継続しても、成果の向上が期待できない。				
		□4 類似・重複した事務事業が存在する。(事業名)				
		■5 上記に該当する項目はなく、上位施策への貢献度を認められる。				
目標に対する達成度は		■非常に高い □高い □低い □非常に低い				
効率性	単位コストの状況は	□かなりよくなった □よくなった ■変わらない □悪くなった □かなり悪くなった				
	事業費や人件費削減の工夫は	□1 従事人員の見直しによりコストを下げる余地がある。				
		■2 事務改善(手順の見直し・作業の効率化・IT活用等)によりコストを下げる余地がある。				
		□3 契約内容の変更によりコストを下げる余地がある。				
		□4 他の実施主体の活用によりコストを下げる余地がある。				
		□5 その他見直し・変更によりコストを下げる余地がある。(受益者負担等)				
		選択しなかった根拠	□1 既に活用している。			
			□2 法的に行政職員が行うべき。			
			□3 市民サービスが低下する。			
			□4 他の実施主体が持つ専門知識、経営能力、技術力等を活用できない。			
□5 コスト削減が期待できない。						
□6 公平性・公正性、守秘義務が保証されない。						

⑥ 事務事業の改善 (Action)

所属長所見	今後の方向性等(所属長所見・意見等)				
	<p>厳しい経済情勢を受けて住宅需要の減少が見込まれる中、低価格で良好な住宅地は若者世代には大変魅力的であり、薬師寺第1期分譲では販売開始から2年で完売となった。薬師寺第2期分譲については、建設コストに見合う販売価格の設定は困難であるが、中山間地域の人口増対策として大変有効であると考えられることから、販売価格には政策単価による設定を行うなどの方法により事業実施する。</p>				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 充実 現状維持 改善 縮小 廃止 	<p>充実</p>	意見等		
			<p>コスト削減に努めること。 所属長所見のとおり。</p>		
		作成年月日	平成23年 6月30日	内部審査	平成23年10月7日